

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	学校受水槽災害用緊急遮断弁設置事業	所管	総合政策部 危機管理課
			TEL 2998-9399

事業の目的 (何の為に 行うか)	大規模災害時、飲料水の確保に努め、災害応急体制の充実を図ることを目的とする。
------------------------	--

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	学校受水槽災害用緊急遮断弁設置対象学校数	対象とした数	46	校
		実際に 利用した数	40	校

活動の内容 (何を したか)	指定避難場所である各小中学校の既設の受水槽に緊急遮断弁、給水用水栓等を設置し、震度5以上の揺れを感知すると、自動的に水槽内部で出水口を遮断し、受水槽内の水を飲料水として使用できるようにする。明峰小学校については、受水槽が設置されていないことから隣に水道部浄水場が既設にあることから、その施設からの供給により非常用飲料水の確保に努める。								
	活動実績	項目名	設置済月校数	40	項目名	単年度設置学校数	2	項目名	単位
			単位 校			単位 校			単位

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	4,161	3,990	6,978	20.6

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	設置率	設置済月校数/設置対象学校数	46 単位	40 単位	87.0 単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他 []
		終了 ⇒ 事業完了 終了 休止
	予算	* 現状どおり 増額 減額 終了

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 * 有り⇒下記評価へ 無し⇒終了	
	総合 評価	拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他 [] 終了
	予算	* 現状どおり 増額 減額 終了

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当 部課	部課コード	010400	TEL	2998-9399		
事業コード	学校受水槽災害用緊急遮断弁設置事業							
010404								
開始年度		平成	9	年度	—	終了年度	平成	年度

②事業の概要	事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加			根拠法令					
	分野別計画・指針	所沢市地域防災計画			災害対策基本法					
	関連・類似事業									
	総合計画の体系	政策	第6章 みんなが安心して暮らせるゆとりあるまち	施策	2節 防災	中柱	2 災害応急対策の充実	小柱	(2)被災者支援の取り組み	
	行政改革大綱における行動計画への位置づけ	・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 19 位			・実施計画における位置づけ…			H19	A	H20
事業開始の背景	平成7年1月に発生した阪神・淡路大震災を契機に、大規模災害に備え、指定避難場所である小中学校に飲料水を確保できるような事業を開始した。									

③事業の内容	目的(何のために、具体的に)									
	大規模災害時、飲料水の確保に努め、災害応急体制の充実を図ることを目的とする。									
	対象(誰を、何を対象としているのか)					利用数の考え方				
	学校受水槽災害用緊急遮断弁設置対象学校数					学校受水槽災害用緊急遮断弁設置学校数				
	対象数	単位	平成 18 年度	46	校	利用数	単位	平成 18 年度	38	校
		平成 19 年度	46	校			平成 19 年度	40	校	
事業の具体的な内容及び実施方法										
指定避難場所である各小中学校の既設の受水槽に緊急遮断弁、給水用水栓等を設置し、震度5以上の揺れを感知すると、自動的に水槽内部で出口を遮断し、受水槽内の水を飲料水として使用できるようにする。 明峰小学校については、受水槽が設置されていないことから隣に水道部浄水場が既設にあることから、その施設からの供給により非常用飲料水の確保に努める。										

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性) << 最終評価 <input type="checkbox"/> 一次評価 <input checked="" type="checkbox"/> 二次評価 >>									
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ())								
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了								
	平成19年度中に改善した点 特になし									

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	当初予算		2,768	4,161	4,723
	決算 (見込み含む)		2,683	3,990	
	(嘱託職員) (臨時職員)	(人) (人) (人) (人)			
	正規職員人件費		0.10 人 920	0.15 人 1,409	※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。
	公債費		1,605	1,579	
	事業費合計		5,208	6,978	
	財源内訳	一般財源	5,208	6,978	4,723
		国・県支出金			
		受益者負担金			
	市債				
	その他				
	市民一人当たり(単位:円)		15.4	20.6	
	利用数一単位あたり(単位:円)		137,052.6	174,452.5	

⑥指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標	
	活動実績	設置済月校数	設置済月校数	校	38	40	42	46
		単年度設置学校数	単年度設置学校数	校	2	2	2	
	成果分析	設置率	設置済月校数/設置対象学校数		目標値	46	46	
					実績	38	40	実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2
%		達成率	76.6	87.0	1			

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価	
	対象設定	事業の対象を見直す必要性	実施主体	現在の実施主体	見直しの必要性
		<input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし		市	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合	受益と負担の関係	受益者負担の有無	見直しの必要性
		<input type="checkbox"/> 統合する <input type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業がない <input checked="" type="checkbox"/> 統合等必要なし		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
明らかとなった課題	被災者に対する災害応急体制の充実を図る上で、災害時における飲料水の確保は、最重要課題のひとつであり、今年度においても緊急遮断弁設置事業の整備充実を図っていくとともに、飲料水については、多方面からの確保を図っていく。				
評価理由	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)		
	平成20年度における目標設定	緊急遮断弁を2校に設置	46小中学校に設置(明峰小学校を除く)	22年度	
	平成21年度における事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ())			
	総合評価	<input type="checkbox"/> 終了 ⇒ (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止)			
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				
評価理由 災害時における飲料水の確保は、地域住民にとって最重要項目であり、計画的に整備を図ることが必要である。					
評価日	平成20年5月14日	記入者職氏名	危機管理課長 荻岐 英昭		

⑧二次評価	事後評価	平成21年度における事業の方向性				
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 終了				
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				
	事前評価	部内優先順位… 5 位	非常に高い	高い	やや低い	低い
	見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
評価理由	優先度評価	<input checked="" type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業				
		<input checked="" type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業				
		<input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業				
評価理由	大規模災害に対する市民意識は年々高まりを見せている。こうした中、本事業の飲料水確保に寄与する部分は大変大きく、対象学校への設置を進められたい。なお、市民の安心感向上のため、どれだけの水が確保されているか、市民への周知を図る必要がある。					
評価日	9月1日					

⑨個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ…有り	計画コード	181
	実施の体系	1-8災害の対策	実施の方向	1-8-1防災施設の充実
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ…有り	計画コード	3271
	基本目標	3子供達が安心して健やかに暮らすための環境を作ります。		
	主要課題	2子育てに快適な環境づくり。		
施策の方向	7安心して暮らせる環境の整備。			